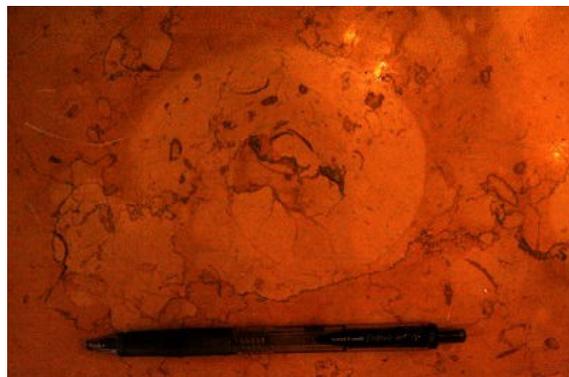
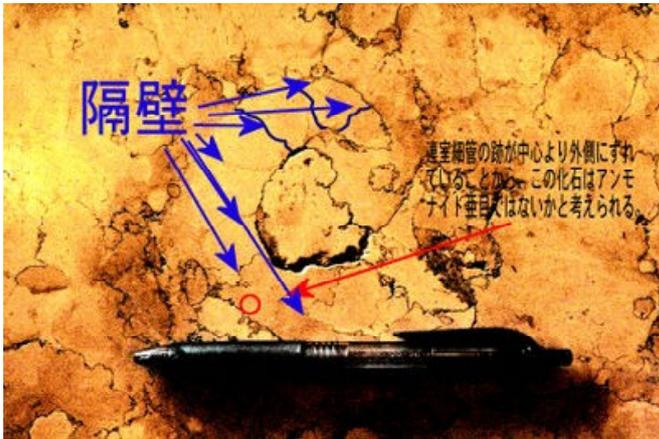


ANAクラウンプラザホテル富山の大理石

ANAクラウンプラザホテル富山の一階床材は、全面がロッソマニアボスキ（イタリア産）という大理石です。落ち着いた茶系統の色調の中に、螺旋状の物体が数多く見えています。これは頭足目（アンモナイト亜目とオウムガイ亜目）の化石で、大きいものでは直径が60cm近くあります。頭足目の特徴である「隔壁」と呼ばれる仕切り壁や、「隔壁」で仕切られた「房室」をつなぐ「連室細管」の跡がはっきりしており、観察にはたいへん適しています。



※上の画像は、ANAクラウンプラザホテル富山の承諾を得て撮影し掲載したものです。なお、写真によって色合いが異なるのは、コントラストを強調したり明るくしたりするための画像処理の仕方によるものです。